

丸子 まちづくりだより

平成29年 / 2017. 3. 16発行

発行 ● 丸子まちづくり会議 TEL・FAX 75-1061

〒386-0492 上田市上丸子1612(自治センター北庁舎)

E-mail machikaigi203416@cap.ocn.ne.jp

印刷 ● (有)大和印刷

第2号



1月12、26日 まちづくり計画 事業仕分ワークショップ開催

事業仕分って何？

5つのグループに分かれてやったよ

アンケートで寄せられたご意見・要望は多岐にわたり、また、それらに取り組むべき主体も、行政、自治会、各種団体などさまざまです。行政に対する要望も多数あるため、今回のワークショップでは自治センター職員に参加してもらい、まちづくり会議としてできること、できないことの区分け、改善案の検討などを行いました。

5つの分野に分けグループごとにまちづくり計画に取り入れられることを話し合いました。4ページをご覧ください。

- 1班 ● 建設（道路、公園、除雪 ほか）
- 2班 ● 交通手段（バス・タクシー買物、通院 ほか）
- 3班 ● 産業・観光（農業、商工業、観光 ほか）
- 4班 ● 生活・環境・福祉（生活支援、防災、環境 ほか）
- 5班 ● 子育て・教育（乳幼児、保育園、小中学校 ほか）

まちづくりアンケート結果 自由意見報告

今回は、より具体的な「自由意見」についてお知らせします。
件数の多かった内容ベスト5を掲載しました。2ページ、3ページをご覧ください。

丸子修学館高校3年生のアンケートを紹介します。

次世代を担う若者にききました。6ページをご覧ください。

長瀬地区会議が11月28日に設立されました。

まちづくり会議では、5つの地区会議の設立をめざしています。
長瀬地区で先頭を切って設立され、地域づくりがスタートしました。
現在の活動状況など、5ページをご覧ください。

自由に記載していただいた意見・要望を、項目別に分類しました。

問5 地域の課題やあなたが不安に思っていることはなんですか。

順位	項目	回答数	主な意見	(原文のまま)
1	人口減少 少子高齢化	57	人口減少と高齢者の人口比率の増加が予想され、不安材料ばかりを危惧する声が上がっておりますが、健康な老人については、「高齢者」と一括りにせず、老人の老人による老人の為の社会福祉活動を進展させるような施策が重要かと思えます。(後略)	
2	道路歩道バイパス等の整備	56	丸子は上田から松本、諏訪を通す要地にありながら、18号線(大屋)からの道路は複雑にして幅が狭く大胆な改善が望まれる。	
3	公共交通(バス等)の改善	48	まりんこ号について、高齢者になればバス停まで歩いていくことが出来ないで、大型バスより軽自動車を何台か用意して頂いて、電話で一回何円かを自己負担して、家の前から病院とか買物に行けたら良いと思えます。	
4	小売店飲食店の不足	44	車を乗り出さなくても行ける買物、病院等のまちづくり。(若い者の手を借りなくても一人でできる)子供も若者も老人も、独立した生活が出来る環境。(丸子地域で)	
5	荒廃農地山林の問題	39	当自治会、高齢化が進み農業等の後継者が不足、その為他町村の方に委託をする方が増えている。又は畑においては荒廃地化が進んでいる。20年後はどうなるのでしょうか?とても不安に思っています。	
1位~5位	小計	244		

- 上記のほか、22項目・672件の意見をいただきました。
主なものは、ゴミ、騒音、ソーラー問題38件、
コミュニティ不足35件、除雪の対応・32件。

問7 将来の姿を実現するために何が必要だと思いますか。

順位	項目	回答数	主な意見	(原文のまま)
1	行政要望	476	丸子地区は企業も多く、地元のみならず上田地区からの流入者も多く、朝夕の国道152号線の混雑渋滞はひどい。(大屋周辺)雇用の場を確保することも大切だが、渋滞を緩和し通勤時間の短縮も必要。「丸子の会社は、大屋で渋滞がひどく行きたくない」と思われているのが現状である。(交差点の改修で大分よくなると思うのだが)	
2	企業誘致・遊休地 利活用・雇用充実	183	これから社会を担う子供達が育つ地域になるように、女性が働いて子育てができる環境を充実していく。会社の託児施設、保育園、学童保育の充実を図ったり、多く作られている介護施設職員の待遇改善等で、働く場を広げるなど。	
3	公共交通・小型バス・ 相乗りタクシー	171	バス便の充実。(上田市バスマップをもらったが、いまひとつわかりづらい)独自の、丸子路線の細かい時刻表があるといいと思う。まりんこ号を利用したいが、遠回りになったりするので結局乗らない。大屋駅まで運行してくれると助かる。どこへ行くにも送迎が必要になったりするので、子供も高齢者も安心して乗れるバスをお願いしたい。	
4	まちづくり会議要望	152	「丸子まちづくり会議」がリーダーシップを取って、しっかり責任感を持って計画を立て、タスクを実行する。移住促進→定住支援(特に若い世代の)→出生率増加につながる幅広いインフラ整備→育児支援	
5	思いやり・共助の 仕組み・人材育成	98	自治会の災害マップ等、住民に広報してほしい。隣近所等の助け合いの確認も、必要と思う。街に人の流れが出来るよう、賑わいのある街。かつての丸子町のように。商工会の活発化。園児減少の保育園、幼稚園の統一化。園バスの送迎等。	
1位~5位	小計	1,080		

- 上記の他に、14項目・684件の意見をいただきました。
主なものは、地域交流・特産品87件、若者が住みやすい60件、
気軽に集える交流の場所49件。

問8 丸子地域に期待することはありますか。

順位	項目	回答数	主な意見	(原文のまま)
1	地域交流 社会教育の充実	94	テレビでやっている（ダッシュ村、目が点等）自然に接する場所を作り、外で遊ばせる。野菜を作りそこで遊び、物を作り、食べる場所、未使用の畑、空家を使い、名前を「丸子の真田丸」とし、問7も含む青少年の村づくりを。	
2	商店街活性化 多様な商店徒歩で買物	86	昔ながらのお店を大切に、新しい商売との共有、地元の方が協力し合え、地元の方が集まれる、商売とコミュニケーションが取れるよう、町の補助等上手く使い活気のある街となるよう期待したいです。	
3	子育て若者等が 住み易いまちづくり	84	今日引越しをしてきて初めて丸子で乳幼児健診を受けました。引越する前にママ友から聞いていた通り、丁寧でアットホームで良かったです。このような対応で安心感が育児をする上で支えになります。今後も子育ての分野の充実を宜しくお願い致します。	
4	市町村合併の意見	80	上田市になって10年丸子には何が変わったのか体、目で感じることはない。商店街は段々閉店し、つい上田市内に買物に行ってしまう。景気のせいでもあるが、どうも淋しい街になってしまった。	
5	観光交流温泉の充実 特産品開発	70	他地域より丸子へ行ってみたい、住んでみたいと思わせる、思い切った行政の取り組みを期待する。音楽村のスイセンやラベンダーも良いが花を♡型に植えてちょっと離れてみることで恋人の聖地をつくってはどうか？夜のライトアップやイルミネーションも。また、陣場山のブドウ畑に早くワイナリーを実現してほしい。	
1位～5位	小計	414		

- 上記の他に、20項目・787件の意見をいただきました。
主なものは、除雪対策68件、丸子らしさ伝統文化の承継67件、企業誘致49件。

問9 丸子まちづくり会議に期待することはありますか。

順位	項目	回答数	主な意見	(原文のまま)
1	まちづくり会議への 要望	361	上田市との合併から10年後にできた、「まちづくり会議」に期待しています。「分権型自治」といっても、県や市はスピードが遅い！これが企業なら10年間の期間は、売上や利益の数値と経営の方針が大きく変化し、すでに成果が出ていなければ、トップの交代、幹部の交代になるはず。思いを実現する為には、「まちづくり組織」とにかく提案し続ける。そして、県と市に理解を求め動いてもらうように促す。自分にも何か出来ることがあれば、協力したいと思っています。	
2	議会や行政への要望	179	まちづくり会議の事業については、しっかりとした方向性を打ち出しできることから焦らず始めてください。行政は地域課題を地域住民と共有して解決することがまちづくり会議に期待するところであるが一方行政のスリム化を目指すところがあるが、町づくり会議としてはどのように協調対応するかは責任が重い。	
3	まちづくり会議への 疑問又期待しない	65	本音は期待していない。全員参加型の大改革を早急に行動して。何をやるにも田舎根性で遅い。本当に変化させないと困るという認識を持って、委員と公務員が中心になりやって下さい。本気を出して若い人を動かすモチベーションをかけてください。	
4	多くの人の意見が 反映できる仕組み	51	形ばかりの会議にならないでほしい。若者の意見をしっかりと聞いてほしい→SNSの活用など。日中は仕事、夜も子供がいれば会議に参加できない世代でも意見が出せる環境をつくってほしい。まちづくり会議で決定したことが、行政で覆されることがないようにしてほしい。	
5	若い多方面からの 人材活用リーダー養成	43	今、何らかの形で「まちづくり」に関わっている人が少しずつ友達を誘い、段々関わる人の人数が増えていけばよい。人の輪が大きくなり、何らかの形で社会的な活動に関わる人が増えるほど、心も経済も豊かになっていく。働く世代は忙しく、先ずは、引退したシニア世代から参加し老若男女、大人も子どもも、沢山の人が社会のこと地域のことを考えて何か行動する。そんな地域になったら素敵だと思います。	
1位～5位	小計	699		

- この他にも、21項目・364件の意見をいただきました。
主なものは、市民の意見を広く聞く34件、商店街活性化・企業誘致・働く環境34件。

事業仕分ワークショップの状況

2、3ページではアンケート結果を「課題・不安」や「期待すること」といった設問ごとに回答数ベスト5等をご紹介します。

皆さんからは、「R152号バイパス」、「子供たちがのびのび遊べる公園」、「買い物、通院に出かける手段」、「高齢者が気楽に集える場所」をといた様々のご意見ご要望をいただきました。

事業仕分って何をしたの!?

皆さんからいただいたご意見のなかから、まちづくり会議として取り組めることは何か？まちづくり計画に取り入れられることはなにか？。行政や自治会、各種団体などとの役割分担、連携を考えながらアイデアを出し合って討論しました。

- ① 事業仕分ではご意見を下の表のとおり5分野に分類しました。
- ② そのなかには「バイパス」、「公園」等の社会資本整備や「企業誘致」ほか、行政の業務に係わる案件が多数に上ることから、各班に各分野の自治センター担当職員に参加していただきました。
- ③ 自治センター職員からは、行政の考え方、棲み分けなどアドバイスをいただき、今後の方向性なども助言をいただきました。



分野別意見件数と参加人数

分 野	意見件数	行政職員	まち会議
建 設	503件	3人	3人
交通手段	459件	2人	4人
産業・観光	1,026件	2人	4人
生活・環境・福祉	606件	5人	4人
子育て・教育	396件	3人	4人

事業仕分のまとめ

1 2月14日／第11回 丸子まちづくり会議役員会

まちづくり会議として、取り組み可能なもの、具体的内容の確認。

2 2月22日／社会福祉協議会丸子地区センターとの意見交換

社会福祉協議会と連携できる事業が多いことが分かった。調整が必要。

3 3月14日／第12回 丸子まちづくり会議役員会

事業仕分のまとめ実施。

・原稿締め切りの都合上、「3月14日 役員会」の結果は後日お知らせします。

長瀬地区会議の活動状況



1. 平成28年11月28日 設立総会開催

下長瀬コミュニティセンターで、丸子まちづくり会議を構成する予定の5つの地区会議の中で最初となる、長瀬地区会議が設立されました。設立総会では、規約、役員、事業計画、予算などが決定されました。

2. 第1回理事会、長瀬3自治会全体協議会の開催

平成29年2月6日、上長瀬公会堂で開催され、28～29年度の重点事業を進めるための2つの部会の設置、予算の具体的な用途などが決定されました。

全体協議会では、上田市出前講座として「地区防災計画ガイドライン」の勉強会と理事会の報告が行われました。



(理事会の様子)

設置された部会と事業内容

部会名称	内 容
総務部会	○長瀬地区まちづくり計画を策定する。 ○会議録作成、長瀬地区住民への周知（回覧もしくは全戸配布）
防災部会	○長瀬地区防災計画を策定する。 ○自主防災訓練の実施、上田市消防団丸子第5分団への協力等

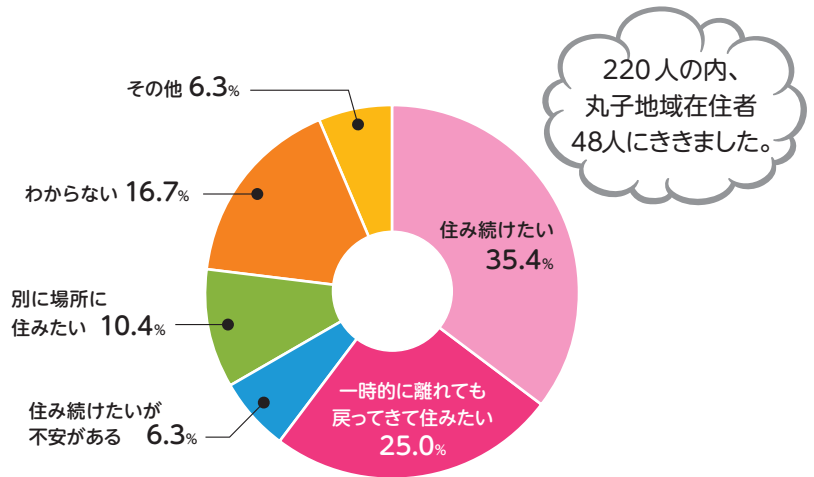
- ◆ 長瀬地区防災計画づくりを進めるため、国のモデル地区に指定された長野市長沼地区住民自治協議会への視察研修が2月26日に実施されました。

丸子修学館3年生 次世代を担う若者220人にききました

将来も丸子地域に住み続けたいか？

将来も丸子地域に住み続けたいと思いますか？

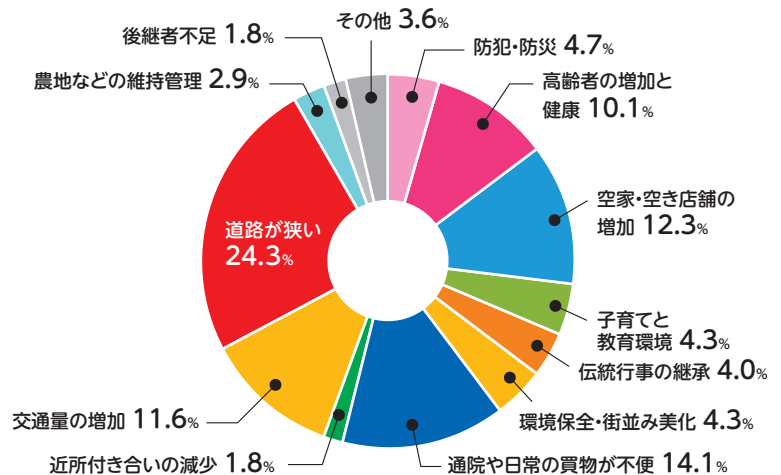
「住み続けたい」と「戻ってきて住みたい」で60%を超える一方、「別の場所」が10%、「不安」を訴える生徒が6%などとなっています。



丸子の課題・不安は？

一般のアンケートと比較すると、「高齢者の増加と健康」の割合が半分以下（一般 24.2%）、「道路が狭い」が一般の3倍以上（一般 7.0%）と対照的な結果でした。

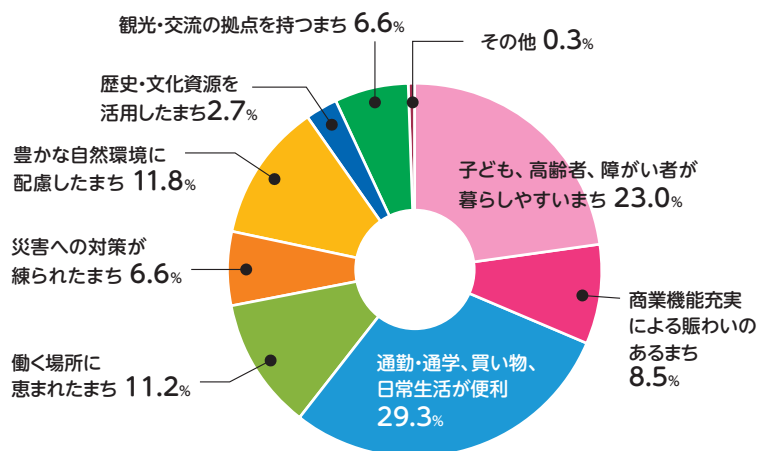
(回答 220人)



丸子の将来の姿は？

一般のアンケートと概ね同じ傾向を示していますが、「日常生活が便利」が最多で、一般アンケートと比較して10ポイント以上多くなっています。

(回答 220人)



編集後記

アンケートの自由意見をお知らせしましたが、これはまとめるのに一苦労でした。高校3年生のアンケートも掲載しましたが、社会人とは違う生活圏を示す内容だったと思います。地区会議もトップバッターが打席に立ち、これからが楽しみです。

第2号をお読みいただいた感想、ご意見などをお寄せください。